



ワニの川わたり



♪遊び方

・ボールにぶつからないように手を伸ばして這ってぐります。

🔗気をつけること

- ・友達をけらなないように気をつけましょう。
- ・逆から進まないようにしましょう。
- ・腕の力だけで這ってみましょう。



はう



くぐる

おやつをプレゼント



♪遊び方

- ・ササビーのおやつをめがけて、上手投げでボールを投げます。
- ・輪の間を通してもおやつは手に入ります。

🔗気をつけること

- ・投げるときは線の外から投げましょう(届かない場合は調整可)。
- ・投げたボールは元の箱に片づけましょう。
- ・人に向かっては投げないように注意しましょう。



もつ



なげる



あてる

「冒険と創造の森を活用した運動プログラム開発委員会」

① 趣旨

赤城山の南麓に広がる「冒険と創造の森」をテーマにした当施設の敷地全体を活用し、幼稚園・保育園等の幼児が楽しく主体的に体を動かし、幼稚園・保育園等の指導者が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識できる「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を開発及び試行実施する。

② 委員・事務局 (敬称略。順不同。)

- 深町 穰 (赤城育心こども園 園長)
 檜淵 美緒 (赤城育心こども園)
 柳 晋 (認定こども園富士見幼稚園 園長)
 柳 侑里 (認定こども園富士見幼稚園)
 森田 利夫 (前橋市立宮城幼稚園 園長)
 田鍋 祐一 (前橋市立宮城幼稚園)
 松村 純子 (国立赤城青少年交流の家 所長)

- 福岡 公平 (国立赤城青少年交流の家 事業推進係長)
 田村 文明 (国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職)
 山下 順子 (国立赤城青少年交流の家 事業推進係員)

③ 内容

	日時	内容
第1回	令和元年 7月5日(金)	委員会趣旨説明 試行実施、ササビー広場視察
第2回	令和元年 12月11日(水)	試行実施の検証 冊子及びDVDの構成検討
第3回	令和2年 2月13日(木)	冊子の内容確認 普及方策の検討

本ガイドブックの活用について

本年度は、幼児の遊び場である「ササビー広場」がオープンしました。それに伴い「冒険と創造の森を活用した運動プログラム開発委員会」を設置し、左記委員と共にササビー広場の活動プログラム開発とその活用について、試行を重ねてまいりました。

このガイドブックのコンセプトは、昨年度と変わらず遊びが持つ魅力を引き出す「場」と「きっかけ」です。遊びがもつ魅力を引き出す「場」については、赤城のササビー広場という「場」、荒天時の体育館等の「場」をイメージしています。「きっかけ」は、園児のやってみようという「きっかけ」、園児が繰り返し遊ぶ中で、想像力を膨らませ、新たな遊びの展開を引き出す「きっかけ」をイメージしています。

本ガイドブックは、保育者の皆さんが、活動してみたいという思いが実現できるよう「持ち物」「園児の服装」「申し込みから当日までの流れ」等が記載されています。

このガイドブックを手にしていただいている保育者の皆さんに、赤城青少年交流の家の「ササビー広場」で園児たちを遊ばせたい、園児たちを連れていきたいと思って頂けたらと思います。

その後、園庭や園内のプレイルーム等で日常的に様々な運動遊びが広がる事を願っています。



国立赤城青少年交流の家 所長 松村 純子